	Check Place						確認指針			数 搭載	Ш	Memo
1		1					基本規定と定義	OI NO	况上	行戦	16	SRの本項熟読の事
2	С	1	01				目的と利用法					SRの本項熟読の事
3	-	2					規定の適用と基本条件					SRの本項熟読の事
4		2	01				イベントのカテゴリー					SRの本項熟読の事
5	-	2					インスペクション					SRの本項熟読の事
6	-	-	03									ONO THE RING P
7			03	1	а		備品は定められた機能及び性能					
8			03			-	定期的なチェック、清掃、維持					
9			03		С	-	使用しないときに劣化を最小限におさえる収納					
10			03		d		即座に使用できる場所への装備					
11			03	1	e		艇の大きさに対する必要備品の適合性					
12			03		е		重量物					
13			03	-	_		半単物 パラストに関係する重量備品の取り付け					
			03	-								
14			03	2	D		キャビン内で乗員を傷つける可能性のある重量物の固定					
15		3	01				構造上の要点と復元力、固定された装備品					
16		3					SRは「擬体が強固には」の理解					#/=
17	-	-	02				ハルの完全な水密性(ソーラーベンチレーション装置も閉鎖手段も持つ事)					ガムテープ等は不可
18			04				モノハル艇のスタビリティー(復元力)					オーナーの宣誓による
19			04	-		_	十分な復元力を持つ艇					
20			04	3			自艇の復元力の値をしっているか					
21			06				モノハル艇の非常出口					表4
22			80				ハッチ及びコンパニオンウェイ					
23			80	-			ハッチの位置と機構					
24	D	3	80	2	а		90°のヒールでハッチは水面上					
25			80	-			ハッチの取り付けの堅牢さ					
26			80	-			操作性と堅牢度					
27	D	3	80	3	а		コクピットが後方で開口している艇のコンパニオンウェイ					
28	D	3	80	3	b		デッキレベルより下方に及んでいるコンパニオンウェイの海水のせき止めと乗員の導線					
29	D	3	80	4	а		コンパニオンウェイハッチの堅牢さと操作性					
30			80				コンパニオンウェイハッチの固定					
31	D	3	80	4	b	i	コンパニオンウェイハッチの使用の確実性					
32	D	3	80	4	b	ii	コンパニオンウェイハッチの流れ止め					
33	D	3	80	4	b	iii	コンパニオンウェイハッチからの艇外脱出					
34	D	3	09				コクピット					
35	D	3	09	1			コクピットの堅牢性と排水					
36	D	3	09	2			水密性は					
37	D	3	09	3			ビルジの排水と排水管のサイズ					
38	D	3	09	4			コクピットの床位置					
39	D	3	09	5	_	Ĺ	コクピットの位置解釈					
40	D	3	09	6		Ĺ	コクピットのスターンへの開放					
41	D	3	09	7			コクピット容積(建造年により異なるのでSR表5を参照)					
42	D	3	09	8			コクピット排水					
43	D	3	09	8	а		建造年により異なるのでSR本項を参照					
44	D	3	09	8	b		建造年により異なるのでSR本項を参照					
45	D	3	10				スルーハルホールの水止機構					
46	D	3	11				シートウィンチの操作性					
47	С	3	12				マストステップの固定					
48	С	3	13				水密パルクヘッド					
49	С	3	13	1			パウの水密区画					
		_	13				水密区画の強固性					

No	Check		SR Item No				確認指針	Yes	#100	数	144	Memo
51	Place D	Н	14				パルピット・スタンション・ライフライン	or No	規定	拾載	他	
52	D	H	14	2			ライフラインの張られ方					
53	D	Н	14		а		ライフラインの張力					
54	D	H	14	-	a		フォアスティの前にあるパルピットの構造					
	D	Н	14		-		スターンパルピットの装備					
55		Н					スタンションの間隔					
56	D	H	14	-	_							
57	D	H					パルピットのアッパーレールの高さ パウパルピットの構造					
58	D	H	14									
59	D	H	14			-	パルピット・スタンションの取り付け方					
60	D	H	14	-	g		パルピット・スタンションの取り付け位置					
61	D	H	14	-	_		スタンションの取り付け位置					
62		H	14	-	_		ライフラインのありかた					
63	D	H	14				バウパルピットに固定されないライフラインの装備					
64	D	H	14	-	_		スタンションは垂直に固定されているか					
65	D	Н					スタンションの曲がりによる水平移動距離					
66	D	H			k	ii	傾きのあるスタンションの傾き角度					
67	D	H	14	\dashv			ライフラインの高さ、垂直方向の開口寸法、本数					表7
68	D	3	14	6			ライフラインの最小直径、要求される材質、仕様					表8
69	D	3	14	6	а		材質とコーティング					
70	D	3	14	6	b		推奨として:316グレードのステンレスワイヤーを用いた装備					
71	D	3	14	6	С		ラニヤードの長さ					
72	D	3	14	6	d		十分な強度を持つ付属品でライフラインの支持					
73	D	3	14	7			パルピット・スタンション・ライフラインの材質(建造年で規定が異なる)					表9
74	D	3	17				トーレール					
75	D	3	17	1			取り付け位置と堅牢性					
76	D	3	17	2			建造年で規定が異なるトーレール					表10
77	С	3	18				トイレット(ポータブルトイレは定められた場所に強固にラッシング)					
78	С	3	18	2			トイレットまたはバケツ					
79	С	3	19				赛台					
80	С	3	19	2			寝台					
81	С	3	20				炊事用装備					
82	С	3	20	1			装備と取り付け法					
83	С	3	21				飲料水タンク及び飲料水					
84	С	3	21	1	а		タンクとポンプ					
85	С	3	21	3	а		非常飲料水用の容器と量					使用者が補給後再封印も可
86	С	3	22				ハンドホールドの取り付け位置と堅牢さ(ロープでも可)					仕様はSR参照
87	С	3	23				ビルジポンプ及びパケツ					
88	D	3	23	1			コクピット後部開口とビルジポンプ排水					
89	D	3	23	2			コクピット配水管との接続					
90	D	3	23	3			メインテナンス性					
91	D	3	23	4			ビルジポンプハンドルの流れ止め					
92	D	3	23	5	d		コンパニオンウェイを閉じた状態での操作					
93	С	H	23	-	_		頑丈なパケツの数と大きさ					
94	С	Н	24				コンパス					
95	С	H	24	1	а		磁気型と精度					
96	С	H	24	-	_		手持ちコンパスの有無					
97	D	Н	25				ハリヤードの数					
98	D	Н	27				航海灯					
99	D	H	27	1			外からの航海灯の視認性					
100	D	H	27				航海灯の取り付け位置					
100	υ	J	۷1	_			から ストン・ファン 日日		<u> </u>	<u> </u>		

NI-	Check		CD.	+-		_	確認指針			数		Memo
NO	Place		SR I		ı No			yes or No	規定		他	
101		Н	27				航海灯の明るさ					表11
102	С	Н	27				電源の系統と分離 (市販の電池式航海灯でも艇サイズに関係なく可)					
103	С		27				予備の航海灯の有無と装着					
104	С		28				エンジンと発電機と燃料					
105	С	Н	28		1		エンジンカバーと据え付けの堅牢さと船外機の場合の燃料タンク					
106	С		28		a		発電機の場合の据え付けの堅牢さ					発電機搭載の場合
107	С		28				SRが規定するエンジンの性能要求					
108	С	Н	28		а		規定する艇速の発生					
109	С	3	28	3	b		NRで規定されない場合、SR規定最低での燃料搭載量					
110	С		28		С		荒天時でのエンジン保護					
111		Н	28		d		始動用独立バッテリーの有無					
112	С	3	28	3	е		燃料閉鎖バルブと燃料タンク材質					
113	С	3	28	4			推奨項目:シールドバッテリーの搭載					
114	С	3	29				船舶用無線·EPFS					
115	С	3	29	1	а		固定VHFの有無					
116	С	3	29	1	а	i	送信出力					25W以上
117	С	3	29	1	а	ii	マストヘッドアンテナと同軸ケーブルのタイプ					3. 29. 1. a. iii参照
118	С	3	29	1	а	iv	71・72チャンネルの送受信の可否					
119	С	3	29	1	b		緊急用アンテナの有無					
120	С	3	29	1	С	i	防水ハンディVHFの有無					
121	С	3	29	1	С	≔	気象通報が受けられるラジオ					携帯電話は否
122	С	3	29	1	g		携帯電話と規定された付属品					
123		4					ヨットの可動装備とその補充					
124	D	4	01				セール文字とセールナンバー					
125	D	4	01	1			規定の遵守					
126	D	4	01	2			セール以外でのセールナンバーを示す手段					
127	С	4	03				木栓と収納場所					
128	D	4	04				ジャックスティ・クリッピングポイント・固定されたセーフティライン					
129	D	4	04	1	а	i	ジャックスティの装備位置と装備方					
130	D	4	04	1	а	ii	ジャックスティの材質					
131	D	4	04	1	а	iii	ステンレスのジャックスティの条件					
132	D	4	04	2	а		クリッピングポイントの場所と強度					Cat4は推奨
133	D	4	04	2	b	i	キャビンの出入り時のクリッピングポイント					
134	D	4	04	2	b	ii	クリッピングポイントからのクルーの作業性					
135	D	4	04	2	С		クルーの2/3以上のクリップ					
136	С	4	05				消火器(自動消火器は本項の個数としては不可)					
137	С	4	05	1			消火器の数の適合性		2			
138	С	4	06				アンカー					
139	С	4	06	1			即座に使用出来るアンカー(数は艇長で規定が異なる。)					表12
140	С	4	07				フラッシュライト					
141			07		а		フラッシュライトかスポットライトの有無					
142		Н	07				防水型フラッシュライトの有無					
143			08				ファーストエイドマニュアル・ファーストエイドキット					
144			08				緊急医療のマニュアルの有無					
145		Н	08				ファーストエイドキットの有無					
146		Н	08				医薬品の有無と量					
147		Н	08				医学的知識の有無と通信の活用					
147			09				フォグホーン					
	DorC	H					レーダーリフレクター(棒形状の製品で10㎡の保証が無くても可)					
	DorC						レーダーリフレクターの有無		1			
130	DUIC	4	10	1			レース・ソフレンプーの有無					

No	Check	c	SR I	tom	. No	. 1	確認指針	Yes		数		Memo
	Place DorC	-	-1	- 1	INC		「	or No	規定	搭載	他	Mellio
	DorC	-	-	_	2							
		\dashv	_	-			レーダーリフレクターの運用責任者					
	DorC	H		3	Ь		レーダーリフレクターの効用の理解					
154		4		_			紅海装備					
155		4		1			紙の海図・灯台表の有無と作業用具					M
156		4	_	_			安全備品の格納表の掲載					艇の平面図等に格納場所記載
157		4		_	_	_	測深簾または測深策の有無					
158		4	_	_	_		速度計またはログの有無					
159		4					· C念读舵装置					
160		\dashv	15	-			舵軸に取り付けられる非常用ティラー					
161		-	15	1	b		応急操舵装置と使用方法					
162		4					リギンカッターと工具と予備部品の有無					
163		4	_				経に装備する浮遊体への艇名の記入					
164		4				_	救助用の浮遊体への反射材の取り付け					
165		4					ライフブイ					
166		4	-	_	_		以下の装備の装備場所					
167	D	4	22	1	а		自己点火灯つきライフブイかライフスリング					
168	D	4	22	3			拡張式ライフブイ・全自動式装置の定期検査					
169	D	4	22	4			ライフブイ・ライフスリングの反射材					
170	С	4	23				信号烙					
171	С	4	23	1			SR参照の事					表13-1及び13-2
172	D	4	24				ヒービングライン					
173	D	4	24	а			装備場所と長さ					
174	D	4	24	b			推奨するヒービングライン					
175	D	4	25				コクピットナイフ					
176	D	4	26				ストーム・ヘビーウェザーセール					
177	D	4	26	1	а		デザイン・適切なサイズ					
178	D	4	26	2	а		視認性・目立つ色彩					塗料の場合剥落しない塗料
179	D	4	26	3	а		材質					
180		4					デッキ上のシーティングの場所					
181	D	4	26	4	b		ステーに装着する手段					
182	D	4	26	4	f		ヘビーウェザージブの面積					
183	D	4	26	4	g		メインリーフでトライスルの代用とする場合のリーフ面積					リーフする縮減量が40%
184		5					個人的装備品					
185	С	5	01				ライフジャケット					
186	С	5	01	1			乗員全員分					
187	С	5	01	1	а		ホイッスル					
188	С	5	01	1	b	_]	反射材					
189	С	5	01	1	С		ハーネス装置と両立					
190	С	5	01	1	d	J	インフレータブルの気密点検					
191	С	5	01	1	е		艇名・着用者の記入					
192	С	5	02				セーフティハーネス及びセーフティライン(テザー)					
193	С	5	02	1			乗員全員分の規定ハーネス					
194	С	5	02	1	а	Ţ	確実なロック装置の付いたスナップフック					
195	С	5	02	2	T	T	乗員の30%以上に規定されたセーフティライン					
196	С	5	02	3			推奨項目 :過重負担で変色するセーフティライン					
197	С	5	02	4	7	7	乗員間の互換性					
198	С	5	04				オイルスキン					
199	С	5	04		b		目立つ色					
									<u> </u>	1	.	I.